

河内小学校通信

第20号

令和5年9月14日(木)

文責：校長 平塚 学

交通安全教室を行いました

9月12日(火)の3校時は交通安全教室でした。逢瀬駐在所や郡山北警察署の方や交通教育専門員の方々を講師にお迎えし、実践的な訓練を行いました。

開会式では、逢瀬駐在所の山田さんから6年生に交通安全の反射キーホルダーが渡されました。

その後、歩行訓練を行う1～3年生と、自転車乗りの訓練を行う4～6年生に分かれて指導員の方から交通安全についてのお話をいただきました。

1～3年生の交通教育専門員の方から、安全な歩行のしかたについて、フリップを使って、分かりやすく話していただきました。信号機の青の点滅や黄色での対応についても聞きました。その他、「はひふへほトントンとまれ」を合言葉に、お話を聞きました。「はひふへほトントンとまれ」とは、(は)しらない、(ひ)ろがらない、(ふ)ざけない、(へ)いのかげ こわい、(ほ)どうを歩こう、とんとんとまれは、必ず止まって安全確認をするというお話でした。

4～6年生は交通教育専門員の方から、まずは乗る前のチェックポイントとして「ぶたはシャベル」を教してもらいました。「ぶ」はブレーキ、「た」はタイヤ、「は」は、ハンドル、「シャ」は車体、「ベル」はベルのことです。しっかりと点検してから自転車に乗ることが大切だと教してもらいました。

その後、発進時には後方確認が大切なことなど、実演も交えながら丁寧に教してもらいました。

交通教育専門員の方の話がおわると、実際に道路での訓練でした。ポイントに警察署の方や交通教育専門員の方に立っていただき、その場その場で丁寧に指導していただきました。県道の交差点では歩行者も自転車も信号機のある横断歩道での渡り方を丁寧に指導してもらいました。また、自転車については、発進時の安全確認のしかたや道路はできるだけ白線の内側を乗るようなどの具体的な指導がありました。



「ぶ」レーキ

「た」イヤ

「は」ンドル

「シャ(車)」体

「ベル」





実際に道路での交通安全教室の後に閉会式を行いました。はじめに、逢瀬駐在所の方から「しっかり自転車の点検をしてから乗ることが大切であること。自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶることが大切で、家の人にもヘルメットをかぶって自転車に乗るよう伝えてください。」との話がありました。交通教育専門員の方からは、「自転車に乗るときは、見えにくいところがあったら必ず確認すること、ヘルメットをちゃんと被ること、ブレーキは足ではなく手でかけること、自分の命だけでなく人の命も守るという意識をもって自転車に乗ってほしい」との話がありました。

最後に、児童を代表して、6年生のHさんがお礼の言葉を伝えて終わりました。



この交通安全教室で、子どもたちは、交通安全への意識を高めるとともに、自分の身は自分で守ることの大切さを考えることができました。ご家庭でも周辺の交通事情など話題に出して話し合ってみてください。

保護者の皆様、自転車の運搬等にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ふくしま学力調査と全国学力・学習状況調査の結果を配付しました

本日、4年生以上の児童に5月に行った「ふくしま学力調査」の結果を配付いたしました。保護者の皆さんにおかれましては、一緒に配付しました「保護者用リーフレット」をよく読んでいただき、結果の見方を参考に見ていただきたいと思います。また、6年生については、全国学力・学習状況調査の結果も配付しましたので、よろしくお願いします。